



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月14日  
上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社  
 コード番号 6571 URL <https://www.qbnet.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 修 (TEL) 03-6418-9190  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績 (2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	5,568	10.2	612	41.8	579	47.8	394	50.5	394	50.5	457	67.0
2022年6月期第1四半期	5,052	9.5	432	△2.9	392	△1.5	262	△7.7	262	△7.7	273	2.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	30.48	29.56
2022年6月期第1四半期	20.44	19.63

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	29,426	11,733	11,733	39.9
2022年6月期	29,736	11,387	11,387	38.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期 (予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,700	5.1	840	4.4	747	2.7	512	3.8	512	3.8	39.41
通期	21,670	5.4	1,500	7.3	1,328	6.2	907	5.9	907	5.9	69.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	12,977,000株	2022年6月期	12,942,600株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	123株	2022年6月期	123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	12,956,302株	2022年6月期1Q	12,835,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）は、新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」という。）の影響が長期化する中、当社グループでは、万全の感染防止策を講じながら店舗運営を行ってきました。

売上収益は、前年同期に比べ516百万円増加（うち、円安に伴う為替影響は194百万円）し、5,568百万円となりました。各国の本感染症の状況及び売上収益への影響は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）	増減額	増減額 （為替影響 除く）
国内	4,201	4,529	328	—
海外	851	1,039	187	△6
香港	486	535	49	△72
シンガポール	206	261	55	11
台湾	116	168	52	36
アメリカ	42	72	30	18
連結	5,052	5,568	516	△6

（注）グループ会社間の内部取引控除後の金額を記載しております。

<国内>

2022年7月から本感染症の感染拡大（第7波）があったことにより、スタイリストの感染者も増加しました。そのため、適正なシフト配置が困難となるケースが発生し、臨時休業となる店舗が増加しました。一方で、お客様のヘアカット需要に対する第7波の影響は小さく、店舗の稼働率は本感染症の流行前の水準で推移する等、来店客数は増加したことから、売上収益は前年同期に比べ328百万円増加しました。

<香港>

本感染症の防疫措置が継続されたこと及び前年同期に比べて店舗数が減少したことにより、来店客数は減少しましたが、円安に伴う為替影響により、売上収益は前年同期に比べ49百万円増加しました。

<シンガポール>

新規感染者数は継続して発生しておりますが、防疫措置は緩和されております。前年同期に比べて店舗数は減少しましたが、店舗当たりの来店客数は伸長したことにより、全体の来店客数は増加しました。円安に伴う為替影響も含めて、売上収益は前年同期に比べ55百万円増加しました。

<台湾>

前年同期は新規感染者の急増に伴う防疫措置により、来店客数は減少しておりました。当第1四半期も新規感染者は継続して発生しておりますが、防疫措置は緩和されたことにより、来店客数は回復しました。円安に伴う為替影響も含めて、売上収益は前年同期に比べ52百万円増加しました。

<アメリカ（ニューヨーク）>

本感染症の防疫措置は概ね撤廃されていること及び前年同期に比べ店舗数が増加したことにより、来店客数は増加しました。円安に伴う為替影響も含めて、売上収益は前年同期に比べ30百万円増加しました。

売上原価は、前年同期に比べ256百万円増加（うち、円安に伴う為替影響は154百万円）し、4,299百万円となりました。主な増減内容は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

項目	増減額	為替影響以外の主な増減理由
人件費	136 (83)	業務委託店舗の直轄化に伴うスタイリストの増加
賃料	66 (49)	売上収益の増加に伴う歩合賃料の増加

（注）括弧内の数値は、円安に伴う為替影響による増減額を記載しております。

販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ70百万円増加（うち、円安に伴う為替影響は21百万円）し、654百万円となりました。主な増減内容は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

項目	増減額	為替影響以外の主な増減理由
人件費	18 (10)	社内ヘアカットスクール研修生及びエリア管理者の増加
求人費	29 (0)	国内での採用強化に伴うスタイリスト求人費用の増加

（注）括弧内の数値は、円安に伴う為替影響による増減額を記載しております。

その他の営業収益は香港の雇用調整助成金収入等の計上があったこと等により、前年同期に比べ26百万円増加し、37百万円となりました。また、その他の営業費用は、店舗資産の減損損失が増加したこと等により、前年同期に比べ34百万円増加し、39百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は5,568百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は612百万円（同41.8%増）、税引前四半期利益は579百万円（同47.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は394百万円（同50.5%増）となりました。

店舗展開につきましては、3店舗出店いたしました。出店地域は、国内に2店舗、海外は台湾に1店舗であります。また、労働環境改善策として都心の店舗を中心に統廃合を実施したこと等により12店舗閉店したことから、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末より9店舗減少し、711店舗となりました。

なお、当社グループはヘアカット事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ205百万円減少し、4,707百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少183百万円、営業債権及びその他の債権の減少121百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ104百万円減少し、24,718百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減少41百万円、使用権資産の減少86百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ309百万円減少し、29,426百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ402百万円減少し、5,937百万円となりました。これは主として、未払法人所得税等の減少295百万円、その他の流動負債の減少135百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し、11,754百万円となりました。これは主として、借入金の減少171百万円、リース負債の減少97百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ655百万円減少し、17,692百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、11,733百万円となりました。これは主として、資本剰余金の減少117百万円、利益剰余金の増加394百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少し、3,540百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、841百万円（前年同期は1,027百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益579百万円、減価償却費及び償却費816百万円等の計上等に対し、法人所得税の支払額448百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、93百万円（前年同期は84百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出73百万円、差入保証金の差入による支出19百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、985百万円（前年同期は805百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出175百万円、リース負債の返済による支出702百万円、配当金の支払額130百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想に関しましては、2022年8月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,724	3,540
営業債権及びその他の債権	915	793
その他の金融資産	29	19
棚卸資産	92	160
その他の流動資産	152	192
流動資産合計	4,912	4,707
非流動資産		
有形固定資産	1,360	1,319
使用権資産	5,116	5,030
のれん	15,430	15,430
無形資産	116	118
その他の金融資産	1,937	1,954
繰延税金資産	748	753
その他の非流動資産	113	112
非流動資産合計	24,823	24,718
資産合計	29,736	29,426
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	235	244
借入金	1,707	1,708
リース負債	2,292	2,301
未払法人所得税等	489	193
その他の金融負債	89	98
その他の流動負債	1,526	1,391
流動負債合計	6,340	5,937
非流動負債		
借入金	8,439	8,268
リース負債	2,905	2,808
その他の金融負債	76	83
繰延税金負債	22	27
引当金	553	557
その他の非流動負債	10	10
非流動負債合計	12,008	11,754
負債合計	18,348	17,692
資本		
資本金	1,289	1,302
資本剰余金	4,829	4,712
利益剰余金	4,987	5,382
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	281	336
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,387	11,733
資本合計	11,387	11,733
負債及び資本合計	29,736	29,426

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	5,052	5,568
売上原価	△4,043	△4,299
売上総利益	1,009	1,268
その他の営業収益	10	37
販売費及び一般管理費	△583	△654
その他の営業費用	△4	△39
営業利益	432	612
金融収益	3	4
金融費用	△43	△37
税引前四半期利益	392	579
法人所得税費用	△129	△185
四半期利益	262	394
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	262	394
四半期利益	262	394
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	20.44	30.48
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	19.63	29.56



## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	262	394
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11	62
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	11	62
その他の包括利益合計	11	62
四半期包括利益	273	457
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	273	457
四半期包括利益	273	457

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2021年7月1日残高	1,245	4,785	4,129	△0	△110	107	△3
四半期利益	—	—	262	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	11	—	11
四半期包括利益合計	—	—	262	—	11	—	11
新株の発行 (新株予約権の 行使)	13	13	—	—	—	△7	△7
株式報酬費用	—	—	—	—	—	1	1
所有者との取引額合計	13	13	—	—	—	△5	△5
2021年9月30日残高	1,258	4,798	4,391	△0	△99	101	1

(単位：百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年7月1日残高	10,156	10,156
四半期利益	262	262
その他の包括利益	11	11
四半期包括利益合計	273	273
新株の発行 (新株予約権の 行使)	18	18
株式報酬費用	1	1
所有者との取引額合計	20	20
2021年9月30日残高	10,451	10,451

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2022年7月1日残高	1,289	4,829	4,987	△0	193	88	281
四半期利益	—	—	394	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	62	—	62
四半期包括利益合計	—	—	394	—	62	—	62
新株の発行 (新株予約権の 行使)	12	12	—	—	—	△6	△6
剰余金の配当	—	△129	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	12	△117	—	—	—	△6	△6
2022年9月30日残高	1,302	4,712	5,382	△0	255	81	336

(単位:百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2022年7月1日残高	11,387	11,387
四半期利益	394	394
その他の包括利益	62	62
四半期包括利益合計	457	457
新株の発行 (新株予約権の 行使)	17	17
剰余金の配当	△129	△129
所有者との取引額合計	△111	△111
2022年9月30日残高	11,733	11,733

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	392	579
減価償却費及び償却費	787	816
減損損失	2	33
金融収益	△3	△4
金融費用	43	37
助成金収入	△7	△27
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	27	165
棚卸資産の増減額 (△は増加)	11	△66
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△4	4
その他	△151	△247
小計	1,099	1,292
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△39	△29
助成金の受取額	7	27
法人所得税の支払額	△38	△448
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027	841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68	△73
無形資産の取得による支出	△2	△15
差入保証金の差入による支出	△17	△19
差入保証金の回収による収入	5	17
その他	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△175	△175
セール・アンド・リースバックによる収入	7	5
リース負債の返済による支出	△656	△702
新株予約権の行使による収入	18	17
配当金の支払額	△0	△130
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△805	△985
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	146	△183
現金及び現金同等物の期首残高	4,601	3,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,748	3,540

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定は、前連結会計年度の決算短信に記載の内容から変更はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、ヘアカット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり利益）

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	262	394
普通株式の期中平均株式数（株）	12,835,970	12,956,302
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加（株）	533,474	401,080
希薄化後普通株式の期中平均株式数（株）	13,369,444	13,357,382
基本的1株当たり四半期利益（円）	20.44	30.48
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	19.63	29.56

（重要な後発事象）

該当事項はありません。